

議題	【議題1】新施設の理念・コンセプトについて
<p>1-1. この施設は、石山・東石山地域にとってどのような「あるべき姿」を目指すべきだとお考えですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種の団体(自治会や地域の趣味の団体)が集える場所(活動拠点)であり、地域の発信拠点とするコンセプトに賛成。 ・「緑」が少ない地域ではないので、現園芸センターの継続は意識しない。 ・緑あふれる憩いと地域の活動の発信拠点 ・地域の人々が交流し連帯感を高め、安心して生き生きと住み続けるためのサポートをしてくれる拠点 ・多世代の多様な人々が集うと共に、互いに学習研修し合える場所。 ・健康と憩いを楽しめる、緑あふれる公園機能をもって、だれでも気軽に立ち寄り場所。 ・多世代の交流拠点 ・多様な価値観を受け入れることができ、視野が広がる場 ・身近なコミュニティ以外にも別の世界があるとわかる場所 ・多世代交流があり、地域での学びや活動など複合的にできる拠点 <p>旧式の公共施設分散形式は地方では成り立たない現状を踏まえ、利便性の高い場所(アクセス・認知されている地域)に新施設集約が望ましい。</p> <p>新施設の基本は、1つは、行政窓口業務が石山出張所の業務を最低限として区役所まで行かなくても処理できる事、2つは石山南まちづくりセンター・石山自治会館など分散されている施設も新施設に統合し、地域住民が共有して使用できるようにする事、3つは越後石山駅改修と相乗効果を出しこのエリアの価値向上に起因できる施設である事、4つめは既存施設内のレイアウト・必要機能(利用状況)を踏まえ無駄ない内容である事、5つは越後石山駅前は他エリアと違い密集住宅地でありながら緑地公園に面している点、他エリアとの差別化と考えるので新施設でも緑地との共生を望む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流拠点(子どもから高齢者まで多様な人々が集い、自然な交流が生まれる場所) ・園芸センター記念公園と一体化した地域のランドマーク的存在になる施設(駅の利用者など、建物を見た人が、行ってみたいと思うような施設) ・子どもから高齢者まで多様な人々が集い、共創し、にぎわいが生まれる地域の拠点 ・多世代交流と緑あふれる憩いの拠点(地域に暮らす子どもから高齢者まで、誰もが気軽に集い、緑あふれる空間で憩える場所) ・子どもから高齢者まで多様な人々が集い、自然に交流が生まれる地域の交流拠点 ・施設の多世代交流スペースと公園が一体的に利活用出来る交流拠点
<p>1-2. この施設が、地域に提供すべき重要な「価値」は何だとお考えですか？【例】を参考までに示しましたので、あなたのお考えを記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・立地は石山、東石山地域の中心ではないが、行政窓口の一部を備えることで「にぎわい」「防災・安心」「地域の交流」(小学校単位のコミ協も垣根を超えたと考え方などの違いに感心することがある。)拠点とし、他の「シルバーピア」や「東石山コミハ」を従える拠点施設とする。 ・みどり・景観と地域の防災安心 ・人々がこの緑豊かな公園の一角にあるこの施設を訪れる喜びと、プラスして教養・健康・人とのふれあいを高めるイベントの開催、参加 ・地域の歴史や伝統文化の継承と学習の場所。 ・住民の主体的健康づくりを支援すると同時に、健康寿命の延伸に貢献する。 ・緑あふれる緑地環境を維持し、訪れる人たちに心理的安定感を与える場所。 ・人のあたたかさ(人に話すこと、人と話すことを楽しいと思える) ・地域に密着し、住民の生活を支える(例1～5すべて含む) <p>1-1で記述した通りで、行政窓口が充実しなければ意味がなく、施設・人材統合に伴い既存よりも業務内容の充実が必須とし、新潟市内駅前で行政窓口がある箇所はないと認識するので、行政施設機能だけでなくエリアの情報発信場所となるよう、また他新潟市内エリアのモデルケースとなるように文化・賑わい・健康・防災・憩い景観を踏まえ大型施設でなくともミニマムな充実した施設が今エリアに望まれると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい(イベントや日常的な利用を通じて、地域に活気や人の流れを生み出す) ・安心(誰が来てもよい。子ども連れも障がいのある方も安心して利用ができる場) ・にぎわい(イベントや日常的な利用を通じて、地域に活気や人の流れを生み出す) ・みどり・景観(緑あふれる公園を適切に管理し、緑地環境や景観を維持する) ・にぎわいと憩い、多世代交流 ・賑わいの創出(イベントや日常的な利用を通じて、地域に活気や人の流れを生み出す) ・健康増進(地域住民の健康増進をサポートする)

議題	【議題1】新施設の理念・コンセプトについて
<p>1-3. 特にどのような方々(ターゲット)に利用してもらいたいですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動する団体 ・すべての世代 ・すべての世代 ・特にターゲットを限定せず、建設後の30～40年の人口等の変化にも対応できるよう、大きな「入れ物」として創ってほしい。 ・地域で活動する団体 ・すべての世代 ・地域で活動する団体 ・すべての世代 ・相談する場所などの少ない子育て世代や、独居高齢者が気軽に立ち寄れる場所。 ・(ターゲットは限定せず)すべての世代 ・(ターゲットは限定せず)すべての世代 ・施設周辺の住民でない人も含む 高齢者以外も子育て・若者・学生・エリアで活動する団体などが利用しやすい施設であって欲しい。 ・(特定の世代・グループでなく)すべての世代。 ・多様な世代に利用してもらいたい ・(ターゲットは限定せず)すべての世代 ・すべての世代に利用を促し、地域の賑わいを創出につなげたい。
<p>1-4. 上記の「あるべき姿」や地域に提供すべき重要な「価値」を踏まえ、この新施設のコンセプト(キャッチフレーズ)をお考えください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・石山フラワータウンセンター ・石山レールタウンセンター ・石山駅前まちづくりセンター ・石山コンベンションセンター ・石山地域住民活動センター ・駅前にある施設であるのでこの地域だけに限定せず、JRを利用して集える人々のための多機能拠点をつくる。 ・駅前に新施設を設置して機能集約し、多世代が集える多機能拠点をつくる。 共生 ・アクセス性と利便性を備えた多世代が集える多機能拠点をつくる 既存機能を越後石山駅前に集約し、全世代が利用できる認識される(シンボルになる)拠点を目指す。 「誰もが安心して集える、駅前の多機能交流拠点」 「多世代の交流が育む、地域の新たなにぎわい空間」 「子どもから高齢者まで、すべての人にひらかれた安心の場」 「地域をつなぎ、世代を結ぶ、未来志向の交流施設」 「緑と調和した新施設は、多様な世代が集い、共創し、にぎわいが生まれる地域の拠点」 ・駅直結の新たな交流拠点が生み出す地域の未来ステージ ・「石山・東石山から広がる つながりと安らぎの交流拠点」 ・「集い・学び・憩いをつなぐ 石山・東石山の多世代拠点」 ・「石山・東石山の未来を育む 交流と共創コミュニティ」 ・「つながる、ひろがる石山・東石山まちづくり」 ・「暮らしを彩る、石山・東石山コミュニティ・ラウンジ」

議題	【議題2】新施設に必須の機能と面積について
2-1. あなたが、新施設に「重要で不可欠だ」と考える機能は何ですか？	<p>・【例1～5】すべて欲しい。多目的な入れ物的建物(空間)と考え、時代の流行や利用者ニーズに合わせ、フレキシブルに対応できる空間。</p> <p>・現在の新潟市(市役所)は持っていない施設。東区、中央区、秋葉区、江南区からも利用が期待される。</p> <p>・図書館の充実と読書・学習・世代間交流のスペース(カフェ)</p> <p>・地域に住民が集える憩いの場</p> <p>・生まれ育った実家のようにいつでも気軽に立ち寄れる場所</p> <p>・ホールに間仕切りができ、スポーツや集会が可能なこと。</p> <p>・建物の一部を高床式にし雨・雪の日でも土の上でスポーツができる。</p> <p>・可動間仕切りのある多目的室: 少人数の会議から地域団体の総会まで、様々な団体の人数規模や活動内容に柔軟に対応できる。</p> <p>・子どもたちの居場所(プレイルーム/学習スペース): 乳幼児が安全に遊べるクッションマットの空間や、小中学生が宿題や読書に集中できる居心地の良い空間。</p> <p>・簡易な調理・飲食が可能な交流スペース(カフェコーナー): お茶を飲みながら談笑したり、料理教室を開いたりできる、住民の自発的な集いや憩いの場。</p> <p>・防音設備のある音楽スタジオ/活動室: 楽器演奏や合唱、演劇の練習など、音への配慮が必要な文化活動のための専門的な空間。</p> <p>・自分の意見を自由に表現できるスペース(壁とかでもいい。壁に今月のテーマ!うれしかったことなど、をご自由にどうぞ)</p> <p>・例1～5に加えて、小規模程度の講演会ができる居室の確保</p> <p>行政機能ゾーン以外では、図書館ゾーンは必須(例:長岡駅前再開発、1F第四北越銀行2F図書館)多目的室(可動間仕切りなど)民間には利用料を徴収し貸会議室として利用も可能、他は子供の居場所・エリアのサークル活動(文系・運動系問わず)・エリア住民交流スペース・コンビニエンス(例:長岡市アオーレ1Fコンビニエンス)など</p> <p>・可動間仕切りのある多目的室: 少人数の会議から地域団体の総会まで、様々な団体の人数規模や活動内容に柔軟に対応できる。</p> <p>・子どもたちの居場所(プレイルーム/学習スペース): 乳幼児が安全に遊べるクッションマットの空間や、小中学生が宿題や読書に集中できる居心地の良い空間。</p> <p>・防音設備のある音楽スタジオ/活動室: 楽器演奏や合唱など、周囲を気にせず音楽を楽しむ空間</p> <p>・現在の利用率を考慮した貸室の配置と利用率が低い貸室を多様な利用ができる仕様にしてほしい。</p> <p>・イベントやスポーツなど地域の皆様が大勢で多目的に活用できる交流空間</p> <p>・民間投資によるカフェやコンビニ等のサービス施設の併設</p> <p>・公園と一体的に使える屋外連携型の多目的スペース(キッチンカーや青空イベントと連動可能)</p> <p>・可動間仕切りのある多目的室(地域団体・会議・展示に対応)</p> <p>・子どもの居場所・学習スペース(放課後の居場所、読書スペース)</p> <p>・簡易な調理・飲食が可能なカフェコーナー(屋外テラスと連携し、公園に開放的な交流機能を提供)</p>
2-2. 新施設に「あるべき姿」を実現するために必要な空間(部屋)はどのようなものですか？	<p>・シルバーピア、東石山コミハではできない屋内スポーツ空間(EXバスケ、フットサル…)</p> <p>・図書館より公園のみどりが一望できる。</p> <p>・可動式の舞台があり、発表会でも便利に利用できる機能がある。</p> <p>・ふれあいの空間: エントランスから公園を一望できるふれあいの空間。</p> <p>・誰もが様々な用途で利活用でき、公園と一体的利用が出来る土間空間をつくる。</p> <p>ルールが守られる空間(他人が不快に思うことはしない)</p> <p>・例1～4を実現できると良いと思う</p> <p>2-1で回答済み内容に加えて、地域活性に利用できるようにフリーマーケットなどイベントに利用できる空間があればなお可。</p> <p>・ふれあいの空間: エントランスから公園を一望できるふれあいの空間。誰もが様々な用途で利活用でき、公園と一体的利用が出来る土間空間をつくる。</p> <p>・開放的な空間: 吹き抜けのある 明るく開放的なエントランスホール</p> <p>・イベント対応可能な空間: フリーマーケットなどのイベントや活動発表にも対応した市民活動の空間。</p> <p>・イベントやスポーツ等を楽しめる交流空間(大規模な多目的ルーム)</p> <p>・公園と一体的に利用できる「ふれあい土間空間」: エントランスと屋外広場をつなぐ半屋外的なスペース</p> <p>・屋外と連続するカフェ・ラウンジ空間: テラスとつながり、日常的な滞留とにぎわいを演出</p> <p>・イベント対応空間: 屋外広場と屋内のホールを一体的に利用可能な空間設計</p> <p>・吹き抜けのあるエントランスホール(明るく開放的で来館者を迎える空間)</p>

議題	【議題2】新施設に必須の機能と面積について
<p>2-3. 既存施設の中で「今後の地域に必要な機能を充実させるため、既存の機能の中で役割を終えたものや、他の機能との集約・複合化が考えられるものはありますか？」その理由と合わせて自由にお書きください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・和室(特殊な用途でしか使えない)(更衣室に和室のような空間は必要) ・浴室(シルバーピアにはあるが利用したことがない)は不要。 ・和室は必要ない。理由は利用率が低いため。→対応:取り外しのできる畳を用意する。 ・室内にテーブル、椅子を置かない。理由は室内が狭くなるから。→対応:納戸に収納する。必要数をその都度使用する。 ・不必要な施設はないと考える。 ・公民館・調理実習室、和室は利用率低いが、調理実習室は医食同源の重要性から利用率を上げる必要がある。 ・和室も日本文化の伝統を継続する施設として多目的に使用できる様に検討。 <p>図書館の個々の学習スペースは1つの空間に集約できるのでは(グループワークの場とは別で)</p> <p>特になし</p> <p>シルバーピアの浴室機能は廃止、利用率が70%を切っている貸室は固定の項目でしか使用が出来ない仕様でなく、複合的に使えるように設計すべきと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶室 和室(畳スペースはあってもいいが) ・調理室 <p>施設利用者ではなく、利用率だけでは詳細な利用実態がわからないため、利用されている方々の集約・複合化に対する思いを聞かせてもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和室や小規模集会室は多目的貸室に集約し、可動間仕切りで柔軟に対応したらどうか。
<p>2-4. 周辺環境との調和を踏まえ、隣接する園芸センター記念公園に求める機能や使い方はありますか？また、新施設と一体的に活用するアイデアはありますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸センターの存続を意識しない方が良いと思う。 ・むしろ、跡地を活用して、今までに新潟市にはなかったような多目的でフレキシブルに使え施設を望む。 ・施設の一部を開放し、外の公園と一体感が持つことができる。 ・悪天候でも公園を身近に感じられるエントランスを備える。 ・周回形記念公園として、人と自然が触れ合える様な感覚を受ける(県立鳥屋野湯公園の様な)。 ・園芸研修会なども出来る場所が欲しい。 <p>緑を残してほしい。花が咲いていると気分も明るくなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花や球根を活用した園芸アート作り(目的:多世代交流) <p>可能かは別として、施設と公園の一体感が生まれる設計が望ましい、例えば白山の空中庭園など住民や施設を訪れた方々が季節を感じられる(白山空中庭園での桜花見など)様に、限られた敷地でも有効活用できるように民間設計より多数プレゼンを受け熟考頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エントランスや多世代交流スペースから公園を一望でき、公園と一体的に様々な利活用が出来る空間をつくる。 ・緑は多すぎず、大きすぎず、木陰と芝が適度な広さであればいい。 ・公園と一体的に様々な利活用が出来る空間 <p>新施設の庭園としての役割を持たせ、施設内からの眺望を重視した四季折々の彩が感じられる樹木や草花が植栽される公園整備を進め、施設と一体となった管理がなされるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新施設エントランスから公園を望めるよう配置し、室内外が一体的に利用可能な動線を確保 ・イベント時には屋外広場として活用できるよう連携(市民活動フェスなど) ・キッチンカーやフリーマーケットの利用を想定してはどうか。 ・プロムナードとの動線を確保し、駅から自然に広場へ人が流れる配置としてはどうか。 ・土間タタキ舗装など維持管理費用を抑えた素材を使用し、清掃・メンテナンス性を重視してはどうか。

議題	【議題3】新施設の空間の質を高める方策と運営手法について
<p>3-1. あなたが、新施設に求める「空間の質を高める要素」は何ですか？</p>	<p>・駐車場は必要だが、配置パターン⑤の施設に③の駐車場が良いと思う。</p> <p>・公園の充実 ・駐車場は80台でよい。</p> <p>・新施設をつくるにあたり、公園を大幅に縮小させることなく、駐車場は立体とするなど工夫をしていく必要がある。</p> <p>・難しいかもしれないが、開放的なエントランスホールや吹き抜けも検討してもらいたい。 ・駐車台数は80台で良い、自動駐車ゲートを採用して90分まで無料(食育花生センター同様に)として、以降の料金は白山公園(燕喜館・陸上競技場等)のプリペイドカードが使える等。</p> <p>・利用ルールは明確に示す(ここでは長時間しゃべらない、走らないなど) ・外が見える場所がある(電車が見えるとか)</p> <p>・官民ともに使用できる施設であること</p> <p>全て必要と考える部屋を詰め込むのではなく、ある程度息を抜ける空間(吹き抜け・エントランス空間)の確保も空間の質を高めると考える。 運営は勿論行政で行うのだろうが、駐車場・施設内売店などは民間競争を利用して無駄に税金を浪費しないように考えて欲しい。</p> <p>・明るく落ち着いた雰囲気づくり(テーブル・椅子なども含めて) ・民間事業者が提案しやすくなる工夫(例:駐車場運営の委託、旧施設解体後の敷地の一部を民間活用スペースとする等)</p> <p>・民間事業者が提案しやすくなる工夫(例:駐車場運営の委託、旧施設解体後の敷地の一部を民間活用スペースとする等)</p> <p>・駅や駐車場から建物エントランスにつながる敷地内導線における石畳や花木によるお出迎え空間の演出と、内外の壁面の材質を木質調にすることで、温かみを演出してはどうか。 ・一方で車イスや体の不自由な方が施設を利用しやすくなるために、エントランス脇へ車が横付けできる車寄せスペースの確保も必要と思われる。</p> <p>・明るく開放的な吹き抜けのあるエントランスホールを設置したらいいのではないかな。 ・公園と一体利用できる屋外広場(土間タタキ舗装・低コスト維持) ・民間事業者が提案しやすい仕掛けが必要ではないか(屋外マルシェやキッチンカーの区画、広告スペース、民間提案としてカフェや小売店舗の提案等)。 ・公園や外構と一体的にデザインし、自然を感じられる交流空間を形成した方がいいのではないかな。</p>
<p>3-2. 新施設の運営手法についてあなたのお考えをお聞かせください。</p>	<p>・行政機能ゾーンの利用頻度による。現東区役所の平面駐車場が常に満車状態なのを見ると、行政機能が入った建物を指定管理者制とすることに違和感がある。 ・シルバーピアも東コミハも行政機能はない。</p> <p>・図書館で使用する読書室、学習室、交流部屋(カフェ)、行政の会議室等と管理を委託する(公民館・まちづくりセンター)の貸室を分ける。</p> <p>・地元で管理を任せるだけでなく、その道のプロにも相談、支援を受けられる運営主体の再検討</p> <p>・行政・図書館機能は直営、そのほかは指管理者に委託する。 ・公園は直営が望ましい。</p> <p>(あまり知識がなくてわかりません)</p> <p>・新施設は直営、駐車場や民間活用は部分的に委託</p> <p>行政業務は行政で、行政以外の運営は民間運営でのコスト差を鑑みて選定されるべき、病院経営同様ですべて行政運営では赤字積算が危惧されるので、運営方法について安易に判断出来ない。</p> <p>・基本的に民間事業者の知恵やアイデアを全面的に活用できる方法で・行政の窓口や図書館の窓口も委託できる部分はしてはどうか・新施設を新たな手法で運営することはできないか？</p> <p>・直営での管理・運営部分は必要最小限として、民間のノウハウを最大限活用することで充実した利用者サービスが受けられる管理運営手法の導入と、建物のみならず周辺の緑地や駐車場部分を含めた一体的な管理・運営がなされるとよい。</p> <p>・行政窓口や図書館など公共性の高いサービスの運営は直営としてはどうか。 ・公園や外構含め、すべて民間事業者による指定管理としてはどうか。</p>

議題	【議題3】新施設の空間の質を高める方策と運営手法について
<p>3-3. その他、地域の交流拠点となる新施設全般について、多世代交流や地域活性化に関するあなたのお考えやアイデアなどありますか？自由にお書きください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の「シルバーピア石山」のような施設が、3～4千世帯に1件はある状況が出来れば、他市町村に対しても自慢できる行政サービスのひとつとなるのではないかと。しかし、行政機能も入った地域拠点となると市全体の配置バランスも考える必要が出てくると思う。 ・自治会運営に長く携わっていると、小さな施設でもよいから近くに集える公共の場所があることのありがたみがよくわかる。当自治会では使えていないが、現在の「自治会等集会施設借上補助金」は今後も継続してほしい(空家が増える傾向にあるので、機会は狙っている)。 ・越後石山駅は決して便利な駅ではないが、新施設は駅前というメリットを持っているので、「石山・東石山地域のため」と限定しない方が、次の世代の市民に喜ばれるような気がする。 <p>・多世代のための交流センターまたは市民会館的な施設及び展示会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の管理運営主体は、コミ協が主なるメンバーとなっているが、もっと人材を集め、多世代、男女様々な人々の意見を聞き出せる運営協議会を育てていく必要性がある。 ・常時利用者の意見聴取ができるようにする(意見箱や直接申し出る)。 ・年2回程度利用者代表者との懇談会を開き、運営等すべてについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップでコワーキングスペースに伺った際、自分の持つ問を表明、共有し、他者と協力し合っ問の答えを探し、イノベーションにつなげようというコンセプトの空間を見してきました。 ・新施設がそこまで社会的価値の高さを求めるものでなくても、他の人の意見を知る場や自分の感情、意見を表現、共感できるような場所があれば、生きづらさの改善に少しでもつながるのではないかと思います。 <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場や民間活用用地については、事業者から土地使用代として利益の一部を徴収すること。 ・土地の所有は、市のものとする。 <p>長岡駅前のアオーレ始め再開発エリアは官民で共生している印象がある。 規模は違うが他(県外を含め)エリアの成功事例・失敗事例の情報収集をし、参考に方向性を決めていくのがまずは必要だと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人たちが試験勉強以外でも集まって活動できる場になったらいいし、世代を超えて一緒に参加できる活動があれば、「多世代交流」を意図せずとも、自然とつながり、互いに理解をしやすいのではないかと思います。 ・また、サークルや趣味の活動だけでなく、自分たちのまちをこうやってよくしていこう、という活動が、従来の自治会 ・町内会の枠を越えて行うことができれば、自治会・町内会の人材不足などの課題解決にも少しでもつながり、「まちセン」の役割をより果たせるのではないかと思います。 <p>駅前という立地特性から、従来の施設利用者のみならず、駅利用者を含めてこどもから高齢者まで多様な方々が気軽に立ち寄りたくなるような、緑に囲まれ、誰もが憩い・安らげる開放的な空間の創出とカフェやコンビニなど飲食を提供する施設の併設(テナント入居を含む)があるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主体となり、学生ボランティア活動や地域企業と連携し、若者や子育て世代の参画を促してどうか。 ・プログラム実施を担う仕組みとして、地域住民による運営組織を設立・活用してはどうか(民間提案にもよるが維持管理を含む場合も想定)。 ・公園や外部空間を活かした「駅前マルシェ」「青空コンサート」など、地域のにぎわい創出